大学におけるスポーツ施設サービスに関する研究： デンマーク コペンハーゲン大学の USG のスポーツサービスに関して

徳永 敏文

Toshifumi Tokunaga: Case report on university sports facilities service: Sports service of USG of Copenhagen University in Denmark. Japan J. Phys. Educ. Hlth. Sport Sci., 53: 173-186, June, 2008.

Abstract : A study of the sports facilities service at Copenhagen University in Denmark revealed the following features. It is used fully by the class, the extension courses, and extracurricular activities, even though only a few sport facilities are available. USG (Universitetets og øvrige højere læreanstalters Studenter-Gymnastik) is an organization in charge of sports services as extracurricular activities of University students, and is a very unique example of utilization of a few sports institutions for many students more effectively.

USG offers many sports programs, about 300 courses being offered in the main season. Therefore, USG uses facilities outside the school too. There are many teams for the beginners in a variety of sports, and this offers more students the chance to do sports. Because the activity time in each session is 60-120 minutes, most courses can offer a lot of courses. Participating students are required to pay an admission fee, and also pay the participation fee for the course. There is a subsidy from the university in addition to these admission and participation fees. This capital allows USG to secure many trainers and to manage facilities adequately.

Key words : area services, program services, management organization

キーワード : エリア・サービス, プログラム・サービス, 運営組織

はじめに

今日、日本では大学において地域貢献、施設開放が言われている。特に国立大学法人は、国立大学法人の使命として「地域の教育、文化、産業の基盤を支える」ことが要求され（新しい「国立大学法人」像について、2002）、また大学における生涯学習への対応として、「公開講座、体育施設等の大学開放事業の実施」が挙げられている（青少年白書、2003, p. 115）。各大学は地域貢献、大学施設開放に向かって努力を始めているがまだ十分とは言えず、特に、地域からの要望が高いと思われるスポーツ施設の開放はあまり進んでいるとは言えない。

一般的に日本の大学では地域への開放はわずかに公開講座や運動部、スポーツサークルのイベント、大会等に一時的に開放されているのみで、定期的に開放はされているところは少ない。その理由として十分とはいえないスポーツ施設を体育の授業、運動部活動、サークル活動等で使用し、ほとんど手いっぱいであることと、学生任せの管理体制、管理専門家（体育施設の管理に精通したプロ）の不在、等によることが多い（井街、1996, p. 106）。

「貧弱な施設に運動部・同好会等がひしめき合っている割には管理体制の不備によりスポーツ施設が使われていない時間も結構ある。」という状況が、特に「国立大学法人」の大学でよくみられる状況ではなかろうか。このような管理体制の不備

な状況では、とても地域へ開放するような余裕はない。その解決策として高橋（2001）はスポーツ・運動施設のマネジメントを事業委託し、利用者による費用負担についても検討することを提案しているが、はたしてそのようなことが可能であろうか。

地域への開放以前の問題として基本的には学内スポーツ施設がすべて有効に活用されていることが重要である。またその優先順位として学内スポーツ施設は授業、学生、教職員の利用が優先され、それらの要求を十分満たしたうえで、余裕があれば地域住民へも開放されるべきである、と考えるのが妥当であろう。

このような意味で貧弱なスポーツ施設を持つ多くの日本の大学でのスポーツ施設サービスの在り方は、豊かなスポーツ施設を持つアメリカの大学などでのアスレティックデパートメントなどは参考にはならない。それに対して欧州諸国の大学のスポーツ施設の整備は必ずしも十分とはいえないが（井街, 1996, p. 101）、その管理体制、運営方法にはわれわれの参考になるところが多い（桑原ほか, 1993）。そこで今回はスポーツ活動に多くの人々が参加し、スポーツ施設の管理・運営もしっかりしている北欧のデンマークに注目し、そこでの大学スポーツ施設の開放使用状況を調査した。

デンマークには3つの総合大学（コペンハーゲン、南デンマーク、オーフス）がある。それぞれの大学にはそれなりのスポーツ施設がありそれなりのスポーツサービスを学生に行っているが、特に首都コペンハーゲンにあるコペンハーゲン大学はより少ないスポーツ施設にもかかわらず、その施設を有効に活用し、一般学生に対してさまざまな多くのスポーツサービスを提供する組織をもっている。コペンハーゲン大学でのこのようなスポーツサービス活動はヨーロッパ諸大学の中でも極めてユニークな活動と思われる。そのようなコペンハーゲン大学でのスポーツ施設サービスの状況を調査することにより我が国の大学でのスポーツサービスの在り方に何らかの知見を得ようとした。

コペンハーゲン大学は1479年に設立され、現在、各学部はコペンハーゲン市内に点在し8つの

Faculty、学生数約3万5千人からなる^{注1)}。その中の1つに Faculty of Science があり、11の Institute を持っている。その Institute の1つに Institute of Exercise and Sport Sciences がある。その Institute は街の中心から少し離れたところにあり、そこにコペンハーゲン大学のスポーツ施設が集中しており、体育担当教員もその Institute に所属している。Institute of Exercise and Sport Sciences においては将来高等学校の体育教師になる学生のために主として実技の授業が行われている（Sørensen, 1978, pp. 126-128）。そのためそこには、体育館3つ（新体育館と古い大小2つの体育館）、陸上競技場兼サッカーコート、テニスコート4面、温水プール（25m）、ダンス場等がある（図1）^{注2)}。新体育館地下にはトレーニング場等がある。決して多いとはいえないスポーツ施設であるが、今回はこれらの施設における授業以外のスポーツ施設利用状況について調査を行った。

調査方法

以上のことを明らかにするために2006年1月にコペンハーゲン大学を訪問し^{注3)}、Faculty of Sciences, Institute of Exercise and Sport Sciences の所長（Studiekoordinator）である Birger Peitersen からコペンハーゲン大学におけるスポーツ施設使用状況についての聞き取り調査を行うとともに、関連施設の見学、関連する資料の収集をした。また、その後授業以外でのスポーツ施設開放を直接行っている組織 U.S.G.（University Students Gymnastik）の担当事務員 Helle Greve Barslev 氏とメールによる聞き取り調査を行った。

調査の結果

1. スポーツ施設開放の概要

コペンハーゲン大学ではスポーツ施設の開放（授業以外での使用）は大別すると2つあり、一つは公開講座（extension courses）、もう一つは学生の課外活動への開放である。

図1 コペンハーゲン大学スポーツ施設

① 公開講座 (extension courses) :

公開講座 (extension courses) は地域住民、子どもたちを集めてのフィットネスコース、サッカー教室等が行われている。それらは体育担当教員がプロジェクトチームを作り、行政から資金を得て行うもので、それらのコース、教室の受講者からデータを取り、その結果を行政に報告をするものである。いわゆる研究の一環で、地域住民へのサービスが目的ではない。しかし、参加料無料でほぼ毎年継続的に行われているので、結果としては地域住民へのサービスとなっている^{注4)}。

② スポーツ施設開放組織 US.G. (University Students Gymnastik) :

コペンハーゲン大学のスポーツ施設は授業およ

び公開講座以外での課外活動での使用は US.G. (University Students Gymnastik) という組織に任されている。US.G.ではサッカーコート、テニスコート以外のスポーツ施設を貸し出している^{注5)}。US.G.は大学の福利厚生関係の組織で、大学体育担当教員 (Institute of Exercise and Sport Sciences 所属) はこの組織とは直接には関係ない。施設の学生への施設貸し出は主としてウィークデーの放課後に貸し出されている。この貸し出し主体が US.G.である。US.G.の事務所はこの Institute の施設の中にあり、利用学生のための集会所、喫茶室等もそろえている。

2. U.S.G. について

① U.S.G.の提供する事業について

U.S.G.の事業は大別すると2つあり、1つはスポーツクラブへの施設の貸し出しである。

2005-2006年度^{注6)}は6種目、26チームへ施設を貸し出している。これらのクラブはすべてコペンハーゲン大学生のクラブである。もう1つはスポーツ教室の開催である。2005-2006年度では15種目約280教室が開催されている。これらスポーツクラブへの施設の貸し出しやスポーツ教室の開催は大学のスポーツ施設を貸し出すだけではならず、地域のスポーツ施設も借りて行われている。メインとなる貸し出し期間は9月の初めから4月末である。その後の5月から8月は夏期休暇シーズンとなりいくつかのショートプログラムが提供される。U.S.G.への入会金は160 クローナ（約3,200円）/年で、その他に各種目、コースへの参加費が別途入用である。週約1回使用で各種目、コースによりかなりの違いがあるが、後述するようにそれぞれ500 クローナ（約1万円）前後の料金がかかる。U.S.G.にはスポーツクラブ、スポーツ教室を含め毎年約7,000人の登録者がいるが、大学が貸出す施設は図1にあるように1ヶ所に集中しているため、夜は一人の管理人でまかなっている。

② U.S.G. 提供の種目について

表1はメインシリーズにおけるU.S.G.提供の種目（教室、クラブ）を種目別に表したものである。それぞれ①種目、②コース、③クラス（チーム）名、④週当たりの回数、⑤-1 U.S.G.が提供する週当たりの施設総数、⑤-2 そのうちの大学施設使用数、⑥一回の使用時間（分）、⑦参加費、が掲載されている。スポーツ教室でのクラス分けは初級、中級、上級、熟練級と細かく分けられている。それぞれ、初級はそのスポーツに対して全くの初心者、中級はそのスポーツを少し親しんだ者で基本的ルールを知っている者、上級はそのスポーツを2~3年親しんだ者でルールもよく知っている者、熟練級はそのスポーツを数年にわたって親しんだ者でほとんどのプレーが出来、ルールも熟知している者、と定義されている。参加者は自分に適したクラスを選ぶことができる。以下にそれぞれ種目別に提

供クラスを見ていく。

バドミントンは週1回の教室を自由参加の教室を含め、24クラス開いている。初級~上級はそれぞれ3教室あり、熟練級は2教室開かれている。1回60分で500 クローナである。また、指導者のいない自由参加の教室も13教室開かれており、これは1回60分350 クローナである。そして、大学のバドミントンクラブのそれぞれA~Dのチームに計7時間帯開かれているが、使用時間は90~120分で使用料金はA, B, Cチームは1,240 クローナ、Dチームは1,040 クローナである。この使用料金はあくまで1人の料金である。これら総計31時間帯のうち大学の施設使用は17時間帯で、したがって学外の施設使用は14時間帯である。提供コースのうち半数近くは学外の施設を利用している。

次のバスケットボールは、初級から熟練まで計6つの教室が開かれている。週1回80分で640 クローナである。これらはすべて大学の施設で行われている。また、大学のクラブ8チーム（男子4、女子3、OB1チーム）へは計16時間帯開かれており、それぞれの時間帯での活動時間は80分から120分まで様々である。その時間帯、一週間の使用回数に応じて使用料金が設定され、540 クローナから2,090 クローナまで様々である。週当たりの使用回数が増えると必然的に料金は高くなる。大学の施設使用は7つの時間帯であり半数以上の9つの時間帯は外部の施設を利用している。

フットサルは15の教室が開かれ、男子に1教室、女子に2教室の計3教室が指導者つきで開かれているが、残りの12教室は指導者無しの自由参加である。すべての教室が大学内の施設で行われている。週1回60分から80分で310 クローナから380 クローナである。

ハンドボールには初級から上級のクラスがそれぞれ1つずつ計3教室、クラブへは男子、女子それぞれ2チームに週2回、計4時間帯を提供している。大学の施設はそのうちの5時間帯を使用している。教室は1回75分から80分で、クラブは90分と120分がある。使用料は教室400 クローナ、クラブは445 クローナである。

バレーボールでは教室は初級から熟練級まで総

表1 USG 提供の種目(教室, クラブ)

① 種 目	② コース	③ クラス(チーム)名	④ 回数 ／ 週	⑤-1 施設 提供 総数	⑤-2 大学 提供 施設数	⑥ 時間 (分)	⑦ 参加費(Kr)
バドミントン							
	教室	初級, 中級, 上級, 熟練	1	11	(5)	60	500
		自由参加	1	13	(6)	60	350
	クラブ	A, B, C, D	2, 3	7	(6)	90~120	1,040~1,240
バスケット							
	教室	初級, 中級, 上級, 熟練	1	6	(6)	80	640
	クラブ	男A~D, 女A~C, OB	2, 3	16	(7)	80~120	540~2,090
フットサル							
	教室	男, 女	1	3	(3)	70, 80	380
		自由参加	1	12	(12)	60	310~350
ハンドボール							
	教室	初級, 中級, 上級	1	3	(3)	75~80	400
	クラブ	女A,B, 男A,B	2	4	(2)	90, 120	445
バレーボール							
	教室	初級, 中級, 上級, 熟練	1	11	(11)	80	640
	クラブ	男A~C, 女A~C, MixA, B	2, 3	17	(7)	60~120	675~1,625
アーチェリー							
	教室	A, B	1	2	(2)	90	890
ダンス							
バレエ	教室	初級, 中級	1	4	(4)	80	410~710
外国のダンス	教室	初級, 中級, 上級, ショウ	1	20	(19)	80~120	430~730
ファンク・ジャズ	教室	初級, 中級	1	10	(7)	90~120	450~550
スタンダード・ラテン	教室	初級, 中級, 上級, 熟練	1	9	(7)	90	730
その他のダンス	教室	初級, 中級, 上級	1	9	(8)	60~90	400~730
エクササイズ							
エロビック	教室	初級, オリエンタル, ステップ	1	8	(5)	60~80	400~550
エクササイズ	教室	各種あり	1	23	(14)	60~90	210~430
体操							
	教室	初級, 中級, 上級, トランポリン	1, 2	8	(8)	80~240	550~2,100
ウエイトトレーニング							
	教室	初級, 中級, 上級, 自由	1	15	(15)	60	400
フェンシング							
	教室	1	2	2	(2)	180	940
ロッククライミング							
	教室	初級, 中級, 上級, 熟練, 自由	1, 2	14	(14)	90	630~1,250
水泳							
	教室	初級, 中級, 上級, 熟練	1, 2	44	(37)	50	380~540
	クラブ	A	9	9	(5)	60, 90	740
水球							
	教室	初級, 女子	1	2	(1)	50, 60	380
	クラブ	A, B	3	5	(4)	60~120	440~740
他の水泳活動							
乳幼児対象	教室	4歳未満, 4~8歳児	1	8	(8)	45	100
その他	教室	シンクロ, 飛ぶ込み, ダイビング	1, 2	7	0	45~120	380~520
その他							
	教室	合気道, 空手	1, 2	7	0	90	490~790
	教室	ヨガ	1	16	(3)	80, 90	410~430
	教室	野外スポーツ		多数			

1クローナ=約20円

数 11 クラスを提供している。それぞれ 80 分で、料金 640 クローナである。すべての教室は大学の施設で行われている。クラブへは男、女それぞれ 3 チーム、男女混合チーム 2 チームに対して計 17 時間帯が提供され、それぞれの時間帯は 60 分から 120 分と様々である。そのうち 7 つの時間帯で大学の施設を使用している。回数、活動時間に合わせて使用料 675 クローナから 1,625 クローナまでである。

アーチェリーは 2 つの教室が開かれているのみである。両教室とも大学の施設内で行われ、90 分で 890 クローナである。

次にダンスであるが、様々なダンスが提供されている。クラシックバレエ、アフロダンス、アルゼンチンタンゴ、ブラジリアンダンス、カポエラ、オリエントダンス、サルサ、サンバ、ファンク、ジャズバレエ、ジャズダンス、ヒップホップ、モダンダンス、ロックンロール、スウィング、ラテンダンスなどなど総計 52 もの教室が提供されている。そのうちの 45 教室が大学の施設で行われている。活動時間は週 1 回で 60 分から 120 分である。料金は 400 クローナから 730 クローナまで様々である。エクササイズの教室もダンスに劣らず多く、エアロビック、エクササイズそれぞれ 8 教室と 23 教室で合計 31 教室である。エアロビックには初心者用からオリエント、ステップなどのコースもある。週 1 回 60 分から 80 分で、400 から 550 クローナである。エクササイズはボクササイズ、キックボクササイズ、ジャイロキネスを含めさまざまなエクササイズがある。週 1 回 60 分から 90 分で 210 クローナから 430 クローナである。大学で行われている教室は両方合わせて約 60% の 19 教室である。

体操は表 1 にあるようにそれぞれのレベル別とトランポリンの計 8 教室が提供され、すべて大学の施設で行われ、週 1, 2 回で 1 回 80 分から 240 分までである。料金はそれぞれ活動時間に応じて 550 クローナから 2,100 クローナまでである。ウエイトトレーニング教室は新体育館の地下にあるトレーニング場で行われ、様々なレベルの 15 教室が開かれている。1 回 60 分で 400 クローナである。フェ

ンシングは 1 教室のみ週 2 回、火曜と金曜の夜に新体育館で開かれている。1 回 180 分で 940 クローナである。ロッククライミングは新体育館の片隅にあるロッククライミング場で開かれ、初級から熟練まで様々なレベルの教室があり、計 14 教室開かれている。それぞれ 90 分で、週 1, 2 回開かれ 630 クローナから 1,250 クローナである。

水泳は様々なレベルに応じて計 44 教室が開かれている。そのほとんどの 37 教室が大学の温水プールを使って行われる。週 1 回ないし 2 回で 1 回 50 分、380 クローナから 540 クローナである。また、クラブに対して 9 つの時間帯が提供され、メンバーは毎日活動が可能である。そのうちの 5 つの時間帯が大学の施設で行われる。60 分ないし 90 分で 740 クローナである。水球は初心者と少女用の 2 つの教室が開設され、そのうちの初心者用の教室は大学の施設で行われる。週 1 回でそれぞれ 50 分、60 分、380 クローナである。クラブの 2 チームには週 2 回と合同の 1 回、計 5 回の時間帯が提供されている。そのうちの 4 回は大学の施設で行われる。1 回 60 分から 120 分で A チーム 740 クローナ、B チーム 440 クローナである。その他の水泳活動として乳幼児対象の教室 8 教室、その他にシンクロ、飛び込み、ダイビングの教室が開かれている。

また、その他に合気道、空手、ヨガなどの東洋武道健康法、野外アドヴェンチャー、スキーなどの野外スポーツなどが開かれている。

今回、U.S.G. が提供したスポーツ教室やクラブへの活動施設は約 340 コースであり、そのうち大学のスポーツ施設使用のコースは約 70% である。

ほとんどのコースは平均的に言えば週 1 回、約 90 分で 500 クローナ（約 1 万円）前後である。また、これらコースに対して学外者も参加できるが、参加費は学生の約 3 割増しであることと、各コースとも学外者の方が多人数にならない、ということが条件としてある。これらのスポーツ教室やクラブへのスポーツ施設の提供数は毎年違う。それはその年の会員数やその年の会員の要望により変化する。U.S.G. はできるだけ会員の要望に応えるべく毎年さまざまな種目、コースを用意してい

る。

③ U.S.G.の学内スポーツ施設使用状況について
 上述したように、大学内のスポーツ施設使用は約70%であり、残りの30%は大学外のスポーツ施設を使用している。地域への大学スポーツ施設の開放どころか逆に、大学が地域のスポーツ施設を借りている状況がある。これは学生数に比べ、スポーツ施設数が非常に少ない、ということにも理由がある。大学内のスポーツ施設はどのような利用の仕方をされているのかを以下に見ていく。

表2-1～表2-5^{注7)}は大学の代表的スポーツ施設におけるU.S.G.利用プログラムである。ウィークデーの10時から15時は主として大学授業の時間帯である。放課後のほとんどの時間帯にプログラム提供されている。

OM-hallen (表2-1)ではウィークデーは主として早朝7時から9時まで、放課後は3時以降に使用されている。バドミントン、フットサル、バレー、ハンドが行われ、ほとんどのコースが90分前後で行われるため、15時から23時までの8時間で1日5、6コースが行なわれている。隣接するidrætshallen (表2-2)では主としてバスケットボール、その他にハンドボール、バドミントンが行われている。ここでは16時から22時まで3～5コースが行われている。新体育館であるKR9-hallen (表2-3)では主として体操、ダンス関係を中心として行われている。この体育館ではこのほかに体育館の隅でロッククライミング教室がほとんど毎日16時から22時まで行われている。また、地下では毎日ウェイトトレーニング教室が3～6教室16時から22時の間で行われている。温水プール (表2-4)では水曜を除き、16時ないし17時から様々なコースが行われている。また、火、水、金には早朝コース、土日の午前中にも様々なコースが行なわれている。また、ダンス、エクササイズ (表2-5)はDanseal (ダンスホール)、Karnapslen (出窓部屋)、GymNord (北ジム)、Gym.Syd (南ジム)などで行なわれている。

以上の表から分かるように、ほとんどのスポーツ施設で毎曜日様々なコースが隙間なく幾つも組み込まれている。わが国の大学のスポーツ施設で

は放課後の使用の仕方として、このように多くの様々なスポーツ教室を開いているところはまず無いであろう。また、1つの施設を1日に3回以上に分けてクラブ活動等で使用しているところもほとんどないと思える。

④ スポーツ教室の指導者について

U.S.G.は様々な多くの教室を提供しており、その指導者数は延べ200名を超える。これら指導者たちの多くは特別な指導資格を持っていない。U.S.G.は彼らを面接により採用している。そのほとんどが同じコペンハーゲン大学の大学生であり、彼らの多くはレベルの高いクラブに所属し運動技能の高い者や将来高校の体育の先生になる者たちが指導している。彼らにとっては良いアルバイトとなるとともに、指導経験のキャリアを積むことになる。また、指導者の中にはすでに大学を卒業している者もいるが、彼らはサイドビジネスとして指導を継続している^{注8)}。デンマークでは一般的に地域スポーツクラブにおいて指導者不足を補うために、そのクラブの小・中学生のチームの指導を高校生や大学生がする、ということが良くあるので、指導者が同じ大学生ということに何ら抵抗は無いものと思われる。

ま と め

デンマーク、コペンハーゲン大学のスポーツ施設開放についての調査結果から以下のようなことが明らかになった。

スポーツ施設は授業以外の使用では、地域住民への公開講座 (extension courses) と学生への課外活動として使用されている。課外活動での学生のスポーツ活動サービスを担当しているのはU.S.G.という組織で、一般学生、スポーツクラブ所属学生両者のスポーツ活動に対しサービスを行なっている。

大学のスポーツ施設は、授業、公開講座、課外活動でフルに利用されており、課外活動は学外の施設まで使用し行なわれている。

U.S.G.の特徴としては、スポーツ施設が少ないにもかかわらず、提供するプログラムの多さである。

表 2-1 OM-hallen

	月	火	水	木			金	土
7:00	バドミントン bad12	バドミントン bad17	フットサル if05	バドミントン bad20			フットサル if07	
8:00	フットサル if04	バドミントン bad18	フットサル if06	バドミントン bad21			フットサル if08	フットサル if10
9:00								
13:00								フットサル if12
14:00								フットサル if12
15:00								フットサル if13
15:30	バレー 上級 v06	フットサル 男性 if01m	バドミントン 中級	バレー 初級 v02				フットサル if14
16:00			バドミントン 初級					
16:10		バドミントン 上級		バレー 熟練 v11				
16:20	バレー 中級 v03		ハンド 上級				フットサル if09	フットサル if15
16:30		フットサル 少女 if02p		ハンド 市4部 D34				
17:00			バレー 中級 v05				バドミントン USG A・B	
17:20		フットサル 少女 if03p		バレー 市1部 kl女2	バレー 全2部 kl女1	バレー 市1部 kl男1	バドミントン USG B・C	
17:30			バレー 上級 v10					
17:40		ハンド 市1部 D12						
18:00	バレー 初級 v01		バドミントン USG C	バレー Mix vm1 vm2	バレー 市3部 kl男3	バレー 市2部 kl男2		
18:20								
18:30								
18:40								
19:00								
19:10								
19:20								
19:30								
19:40								
20:00								
20:10								
20:30								
21:00								
21:30								
22:00								
22:30								
23:00								

表 2-2 idrætshallen

		月	火	水	木	金	土		
11:00							バドミントン USG D(A・B・C)		
12:00									
13:00									
16:00									
16:30	バドミントン bad13							バドミントン 熟練	バスケット 中級
17:00								バドミントン 上級	バスケット 上級
17:15		バスケット 初級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
17:30									
17:40		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
18:00									
18:20	ハンド 初級	バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
18:30									
18:55		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
19:00									
19:20	ハンド 中級	バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
19:30									
19:40		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
20:00									
20:10		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
20:30									
20:40		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
21:00									
21:10		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
21:30									
21:40		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
22:00									
22:30		バスケット 上級	バスケット 中級	バスケット 全2部 kl-b1 男子	バスケット 全2部 kl-b1 女子	バスケット 全2部 kl-b1 男子			
23:00									

	月	火	水	木	金	土
12:00						
13:00						体操 中級 g01
14:30						
16:00						
16:30		エクササイズ taesk ex21	バレエ 上級 v07		アーチェリー 全 bu01	
17:00				体操 上級 g06	エクササイズ taesk ex23	
17:20						
17:30						
18:00	エクササイズ taesk ex18	バレエ 中級 v04				フェンシング 全 kl1
18:40		ダンス カポリエ 初級 dg08	トランポリン 初・中級 g09	体操 中級 g01		
19:00	体操 少女 g07		バレエ 上級 v09		体操 少年 g08	体操 少女 g07
20:00						
20:30	体操 少年 g08		バレエ 上級 v08			
21:00		フェンシング 全 kl1				
21:20						
21:30						
22:00		体操 上級 g06	体操 初級 g05			
23:00						

表 2-4 swimming pool

[illegible]

[illegible]

メインシーズンには 300 以上のコースが提供される。そのうちスポーツ教室は 15 種目で約 280 教室開かれ、その活動時間は 1 回 60 分から 120 分と様々である。種目の多さとともに、様々な種目において初心者用の教室が多く開かれ、また中級、上級、熟練と細かにレベルが設定されていることにより、より多くのいわゆる一般学生がスポーツに親しむチャンスを多く提供している。

このように多くのスポーツ教室を提供することができるのは、その教室の指導者として正規の指導資格を持っている者は少ないが、将来体育教員になる学生、学外のレベルの高いスポーツクラブで活躍している学生、OB などに協力して指導者になってもらっていることも大きい。大学レベルで特に初心者に対してこのような細かいスポーツサービスが数多く行なわれていることもデンマークで多くの人々がスポーツに親しんでいる一因であろう。

大学のスポーツクラブへは 6 種目のクラブ、27 チーム^{注 9)} に対し 1 週間に 58 の時間帯が提供されており、1 回の活動時間は 90 分から 120 分である。ほとんど毎日 3 時間以上練習する多くの日本の運動部と比較すると、活動時間は非常に少ない^{注 10)}。スポーツ教室、クラブ活動ともにほとんどが 1 回の活動時間が 60 分から 120 分と短いため、放課後 1 施設を多い時には 6 つの教室、クラブが順次使用している。このように分単位の短時間使用が多種多様なコースの提供を可能にしている。

参加学生は入会金 160 クローナにプラスして参加するコース料を払わなければならない。平均的なコースと考えられる、週 1 回 90 分、500 クローナ（約 1 万円）では、9 月から 4 月まで 34 回の活動を行うものとして、1 回当たり日本円にして約 300 円である。日本人の感覚としてはやや高い感じがしないでもないが、この参加料収入に加えて大学からの補助金もあり、このことにより U.S.G. は多くの指導者を確保でき、使用施設の十分な管理運営が可能になっている。

コペンハーゲン大学 U.S.G. のような組織を日本の大学で作ることが可能であろうか。そのためには大学運動部などの多すぎる活動時間量・活動頻

度の問題、さらに彼らを含むさまざまな利用者の受益者負担に対する意識、など変革すべき問題はあるが、大学全体でのコンセンサスを得られれば必ずしも不可能とは思えない。

謝 辞

本研究を実施するにあたり、コペンハーゲン大学 Faculty of Science の Institute of Exercise and Sport Sciences 所長 Birger Peitersen 教授ならびに U.S.G. 職員の Helle G. Barslev 氏に貴重な情報を提供していただき大変お世話になりました。記して感謝の意を表します。

注

注 1) コペンハーゲン大学ホームページより。
<http://www.ku.dk/ku/>

注 2) USG program 資料“Universiteternes studenteridrætsforening 2005-2006”より。

注 3) 今回の調査は岡山大学における現代 GP「大学における新たなスポーツ教育活動と地域の活性化」での『スポーツ教育センター』立ち上げのための各国からの資料収集活動の一部として行なわれた。

注 4) Institute 所長 Birger Peitersen 教授への聞き取り調査による。

注 5) サッカーコートは主として公開講座（extension course）で地域の子どもたちのために使用されているため、U.S.G. への貸出しは困難なようである。テニスコートは 2006 年夏に U.S.G. 主催の教室をようやく持つことができるようになり、今後も使用予定である。以上のように教員側は U.S.G. に対して必ずしも積極的に協力しているわけではない。

注 6) デンマークでは年度は 9 月より始まり翌年の 8 月に終わる。そのため年度の表現の仕方として 2005-2006 のような書き方が多い。

注 7) 資料“USG program 2005-2006”より作成。

注 8) U.S.G. 職員の Helle G. Barslev のメールによる返答。

注 9) デンマークのスポーツクラブは他のヨーロッパ諸国と同じく、ほとんどが地域のスポーツクラブであり、大学内のスポーツクラブは非常に少ない。コペンハーゲン大学の学生も多くは U.S.G. 以外の地域のスポーツクラブに所属しており、その中にはデンマークのトップクラスのチームに所属している者も

少なくない。

注 10) 他の地域のスポーツクラブにおいても国内トップクラスのチームであろうと活動時間は週 1~3 回, 1 回 2 時間程度がほとんどである。

文 献

井街 悠 (1996) 欧米諸国の大学の体育・スポーツ施設の紹介と京大の施設との比較に関する研究. 京都大学高等教育研究, 第 2 号: 102-107.

国立大学等の独立法人化に関する調査検討会議 (2002) 新しい「国立大学法人」像について, p. 4.

桑原一良・徳永敏文・山下立次 (1993) 北欧のスポーツ—スポーツは共有財—. 道和書院: 東京, pp. 23-63.

内閣府 (2003) 青少年白書: p. 115.

Sørensen, I. B. (1978) Sport in Denmark. Krohns Bogtrykkeri: Denmark, pp. 126-128.

高橋義雄 (2001) 国立大学スポーツ・運動施設における課外時間帯のマネジメント —名古屋大学を事例として—. 名古屋大学 総合保健体育科学, 第 24 巻 第 1 号, pp. 37-45.

(平成 19 年 3 月 30 日受付)
(平成 20 年 1 月 19 日受理)